

温室効果ガス排出の削減目標

- 2050(R32)年の甲府市ゼロカーボンシティに向けて削減目標を設定して、時代の潮流や技術動向等に即して臨機応変に具体的な削減対策をバックキャストのアプローチで実施していきます。

**2030年
中期目標** 2013年度比 ▲46%
(さらに▲50%の高みに挑戦していく)

**2050年
長期目標** 2050年温室効果ガス排出量
実質ゼロを目指す



私たちの生活環境を守るために、CO₂ を減らしましょう

マイバッグ・マイボトルをいつもケータイ

自分だけのマイバッグやマイボトルを持ち歩いて、レジ袋や使い捨てカップを減らませんか？お気に入りを見つけて、長く大切に使い捨ててくださいね。

再生可能エネルギーを利用する

太陽光や風力といった再生可能エネルギーは、温室効果ガスを排出しない優れたもの。電力を購入するときは、再生可能エネルギーを使用しているプランに変更を検討してみてください。

車に乗るならエコドライブ

ふんわりゆっくりアクセルを踏み、加減速を少なくする、ブレーキは早めに踏みなど安全運転しながらエコもできちゃいますよ。

照明器具はLEDに家電は省エネ家電に

LED照明なら、省エネ効果が高く電気代もお得。長年使った家電は省エネ家電への買替も考えてみてくださいね。断熱リフォームも効果的です。

マイカー、ときどき公共交通機関

毎回は難しくても、時にはバスや電車といった公共交通機関を使ってみませんか？普段と違う景色が広がり、新鮮で楽しいかもしれません。

本当に必要なものを！

家庭から出されたごみは、ごみ処理場で燃やされて、温室効果ガスを排出します。「要らなくなったら捨てればいい」という考え方をシフトして、購入する時は「本当に必要な？」と考えてみてください。



甲府市では、温暖化対策情報サイト「[こうふのeco](#)」にて、計画の内容のほかCO₂削減・省エネに役立つ情報などを紹介しています。

こうふのeco



甲府市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



甲府市は環境省の実施する「プラスチック・スマート」に登録しています

甲府市 地球温暖化対策実行計画 (令和5年3月改定)

概要版

甲府市地球温暖化対策実行計画は、本市における地球温暖化対策を整理した計画であり、甲府市域における取組をまとめた「区域施策編」と、甲府市役所の事務・事業に関する取組をまとめた「事務事業編」で構成されています。

1

地球温暖化対策と甲府市が取り組むべき課題

地球温暖化をめぐる情勢は、気候変動問題への危機感の高まりから、脱炭素社会を目指す動きが加速し、国際的な潮流として温暖化対策や社会構造の考え方を大きく転換する必要性に迫られています。

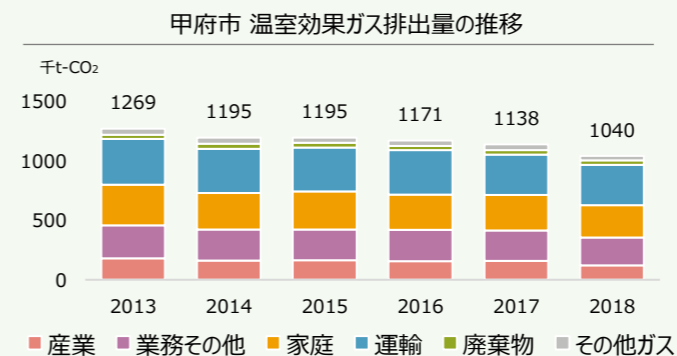
国では、2050年カーボンニュートラル宣言を行い、脱炭素社会の実現に向けた取組を加速しています。また、地域が取り組むべき脱炭素に向けた重点対策を示した「地域脱炭素ロードマップ」を策定しました。

- 本市では2021(R3)年2月に2050年の「ゼロカーボンシティ」を表明し、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいます。
- ゼロカーボンシティの実現に向けて、市民・事業者・NPO等との連携・協働により、今後も、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー活動など、温室効果ガスの排出抑制を一層図りながら、持続可能な脱炭素社会を目指していく必要があります。

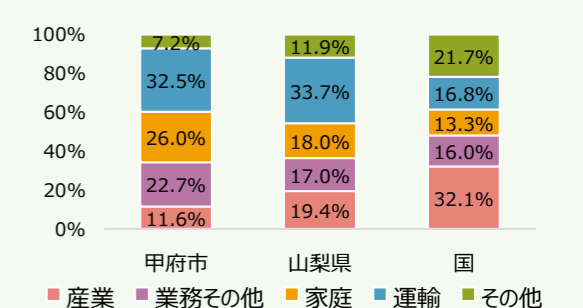
2

本市の現状(温室効果ガス排出量の推移)

- 本市の温室効果ガス排出量は、年間1,000千t-CO₂前後で推移しています。
- 部門別の構成割合では、山梨県と比較して、業務その他部門や家庭部門の占める割合が、国と比べて運輸部門の占める割合が大きいことが特徴となっています。



2018(H30)年度二酸化炭素排出量構成割合



3

将来ビジョン

自然の恵みを未来につなぎ エネルギーの地産地消と豊かな暮らしを実現する グリーンなまち甲府



- 本計画では、豊かな自然や恵まれた日照時間といった地域の資源を生かし、地球温暖化対策を市民・事業者・NPO・行政などの連携・協働により、「持続可能な開発目標(SDGs)」の視点を持って推進することで、市民のライフスタイルや企業活動の抜本的な変革に挑み、温室効果ガス排出削減と地域経済の活性化の両立を図り、持続可能な脱炭素社会を目指します。




〔区域施策編〕

緩和策（6つのアクションプラン）

アクションプラン 1 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進

地域の将来を担う次世代の子どもや学生が環境への関心や認識を深められる環境教育に取り組みます。また、各種イベントの開催や本市の温暖化対策情報サイトである「こふのeco」を通じて啓発や情報発信に努めるとともに、多様な担い手による地域の温暖化防止活動を推進します。



- 取組**
- 1 環境教育の推進
 - 2 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進


私たちにできること

- ・地球温暖化について学び、家庭や企業で実践しましょう
- ・環境に関する出前講座や学習会、イベントへ参加しましょう
☞甲府市リサイクルプラザでも講座を開催しています
- ・地域の地球温暖化防止活動に参加しましょう



アクションプラン 2 持続可能なエネルギー施策の推進

本市は、全国でも日射量が多い地域であり、日照時間は全国でもトップクラスであるという特徴を生かし、太陽光をはじめ、バイオマスエネルギーや、地中熱・太陽熱、小水力等の再生可能エネルギーを積極的に導入していくとともに、水素エネルギーの普及促進にも先駆的に取り組んでいきます。




- 1 再生可能エネルギーへの転換と導入促進
- 2 地域再生可能エネルギーの地産地消
- 3 水素エネルギーの活用

- ・太陽エネルギー設備を導入しましょう
☞甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金を活用してください
- ・再生可能エネルギーの利活用によるエネルギーの地産地消に協力しましょう
- ・水素エネルギーのことを知り、利活用に関心を持ちましょう



アクションプラン 3 潤いある森林の整備と水源の保全

本市は、市域の約64.2%を森林が占めており、豊かな森林資源と水源を有しています。今後も、二酸化炭素の吸収源として大きな効果のある森林について、適切な整備を図り、木材資源の活用を推進するとともに、市民へ森林の果たす役割を周知していきます。




- 1 持続可能な森林整備の推進
- 2 炭素除去技術の活用

- ・森林の適切な整備により、豊かな森林資源を守りましょう
- ・森林ボランティアなどの活動に参加しましょう
☞水源林植樹の集いにご参加ください
- ・県産材等木材を使用した製品を利用しましょう



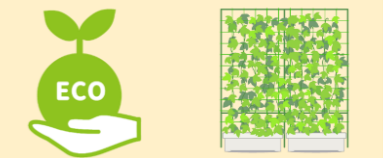
アクションプラン 4 ライフスタイル・企業活動の転換

本市は国と比較して業務その他部門や家庭部門からの温室効果ガス排出量の割合が高く、ゼロカーボンシティの実現に向けて、「省エネ行動」や「省エネ機器の普及促進」等の更なる普及・定着に向けて取り組むなど、環境に配慮したライフスタイルと交通へのシフトを推進していきます。




- 1 環境配慮型行動の推進
- 2 環境負荷の少ない移動の推進
- 3 甲府市（事務・事業）の率先的取組

- ・「COOL CHOICE※1」などの省エネ行動を実践しましょう
☞「こふのeco」で省エネのコツを紹介（裏面をチェック）しています
- ・緑のカーテンづくりを実践しましょう
- ・アイドリングストップなどのエコドライブを実践しましょう



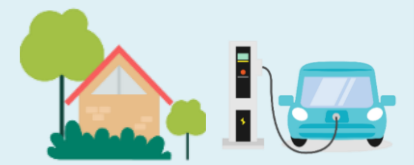
アクションプラン 5 脱炭素型まちづくりの推進

温室効果ガス排出量の削減には、建物の省エネ性能向上やグリーンエネルギー自動車への転換、コンパクト・プラス・ネットワーク等による脱炭素型まちづくりが重要であり、環境に配慮した都市への転換や都市緑化などにより、脱炭素なまちづくりを推進します。




- 1 建物における省エネの推進
- 2 緑あふれるまちづくり
- 3 グリーンエネルギー自動車の普及促進
- 4 都市のコンパクト化

- ・HEMS※2や省エネ家電で住宅のエネルギー効率を向上させましょう
- ・自宅や地域の緑化を実践しましょう
- ・乗り換えの際はグリーンエネルギー自動車を購入しましょう
☞甲府市電気自動車等普及助成金も活用してください



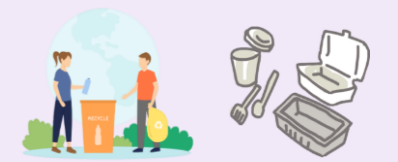
アクションプラン 6 循環型社会の構築

本市では、3R（リデュース、リユース、リサイクル）に基づいたごみの減量化や分別の徹底・推進・拡充等に取り組んでいます。また、近年のプラスチックごみ問題への対応や、再生可能な資源（バイオマスプラスチック等）に適切に切り替え（Renewable：リニューアブル）を促進する取組も推進していきます。



- 1 廃棄物の3R+Renewableの推進
- 2 脱炭素ビジネスの活発化等による産業の振興

- ・ごみの3R+Renewableを実践しましょう
☞甲府タバケを積極的に利用しましょう
- ・ごみの排出ルールを守り、資源の分別を徹底しましょう
- ・プラスチックと賢く付き合しましょう



適応策

地球温暖化への適応策

温暖化対策には、大きく分けて「緩和策」と「適応策」の2種類があります。「緩和策」とは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を削減して地球温暖化の進行を食い止めるための取組であり、最優先で取り組んでいく必要があります。それに対して、緩和策に取り組んでも地球温暖化の影響が避けられない場合、その影響に対して自然や人間社会のあり方を調整していく取組が「適応策」です。

- 1 健康被害を予防する
- 2 自然（水）災害にそなえる
- 3 水環境を整備して水資源を有効活用する
- 4 食料生産技術の研究・開発
- 5 自然生態系の保護

- ・適度な休憩・水分補給で熱中症を予防しましょう
- ・洪水ハザードマップを確認したり、避難訓練に参加して災害に備えましょう
- ・希少野生生物や外来生物について知りましょう



〔事務事業編〕

- 甲府市（役所）では、これまで率先的な温室効果ガス排出量の削減として、公共施設の省エネルギーや太陽光発電システム等の再生可能エネルギーの導入に取り組んできました。
- 本実行計画（事務事業編）では、『ゼロカーボンシティ実現に向けた市役所の率先行動』を基本方針として設定し、庁内の脱炭素化と率先行動を推進していきます。

※1：COOL CHOICE・・・日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動のこと。

※2：HEMS・・・Home Energy Management System（ホームエネルギー・マネジメントシステム）の略。エネルギー使用量を「見える化」したり、家電機器を「自動制御」して、家庭で使うエネルギーを節約する管理システムのこと。